

えほんのおへや通信



2015年1月1日(木)発行 サンガこども園

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」1月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「おっしくらまんじゅう」 おかいみほ作</p> <p>トマトさんとりんごさんが「さむいねえ」といって、おしくらまんじゅうを始めました。すると、ほっかほかとあたたかくなり、緑色だった体もほんのり赤色になりました。そこへ…。</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「くつつだいき」 こんなくつあったらいいな スギヤマカナヨ作</p> <p>こんなくつ、あったらいいな。ポヨンっではずむボールぐつ、ペタペタ歩けるかえるぐつ、ピクニックしたくなるはらっぱぐつ！</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「まほうのひょうたん」 スリランカの昔話 シビル・ウェッタシンハ再話・絵/松岡享子訳</p> <p>おひやくしょうの畑に一つだけあった、とてつもなく大きなヒョウタンは、家に持って帰ると小さくなってしまふ魔法のヒョウタンでした。ある日、おかみさんが…。</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「ごぶじろう」 日本の昔話 稲田和子再話 / いなだなほ絵</p> <p>おばあさんの親指の腹から生まれたごぶじろうは、体が一寸の半分しかありません。18歳になって世の中へ修行に出たごぶじろうは、屋敷のお嬢さんの供をして、出かけます。ところ…。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「こすって こすって」 福知伸夫作</p> <p>お絵かきをしていたら、あれれ？何かのかたちが浮きでてきたよ！クリップや輪ゴムに紙をかぶせて、クレヨンや色鉛筆でこすると、形やもようが浮きでてくる。もっともっとやってみよう！</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「12か月の行事えほん」 4, 5歳から</p>  <p>PHP 研究所</p> <p>一月はお正月、二月は節分、三月はひなまつり……。たぬき田さん一家が、まんぶく山の動物たちと一緒に月の行事を楽しみます。</p> <p>※年齢は目安です。</p>
<p>【雑感】</p> <p>「しつけ」という言葉には「躰」という漢字が使われます。自分の身を美しくするという意味で好んで使う人は少なくありません。</p> <p>しかし「しつけ」という語は元来、着物を「仕付ける」とことと結びついています。これは「しつけ」の意味を良く表していると思います。「仕付ける」とことで重要なのは、縫いあがって糸をはずす時です。この「はずす」ことが、子どもの発達にとって重要な意味を持つのです。</p> 	